

より精確な診断へ 歯科用画像診断法の基本と応用

福岡歯科大学 診断・全身管理学講座

口腔画像診断学分野 教授

【講師】

香川 豊宏 先生



【ご略歴】

平成4年3月 福岡歯科大学 歯学部卒業
平成4年4月 福岡歯科大学 歯科放射線学講座 助手
平成22年4月 福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 画像診断学分野 講師
平成25年11月 福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 画像診断学分野 准教授
令和2年11月 福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 口腔画像診断学分野 教授
令和3年4月 福岡歯科大学 診断・全身管理学講座 主任教授

一般歯科医院においては、口内法やパノラマエックス線検査が広く活用されており、日常的な診療において重要な役割を果たしています。近年、歯科用コーンビーム CT (CBCT) の普及も急速に進んでおり、より詳細な画像診断が可能になってきています。

正確な画像診断は、適切な治療の実施に不可欠な要素であり、患者さんの満足度や治療成績にも大きく影響します。しかし、歯科領域における画像診断は、一般医学領域と比較し、1mm以下の微細な構造物の診断が求められるため、検査の正確性が診断精度に直接影響するとされています。このため、歯科医師は常に最新の技術や知識を習得し、正確な画像診断を追求することが求められています。

本講演では、口内エックス線法、パノラマエックス線撮影、歯科用 CBCT の原理や基本概念に加え、撮影法や診断法のヒントについて解説いたします。さらに、それぞれの技術がもたらすメリットやデメリット、そしてその適用範囲についても詳しく解説いたします。また、最新の研究成果や技術動向を取り入れ、今後の歯科画像診断の発展に寄与できるような情報を提供することを目指します。

最後に、実際の臨床例を交えながら、画像診断がどのように歯科治療に貢献しているか、そして今後の歯科診断技術の発展が患者さんや歯科医療にどのような影響を与えるかについても考察していきたいと思っております。本講演を通じて、参加者の皆様が歯科画像診断の重要性とその応用について理解を深めることができるよう、分かりやすく解説いたします。

【日時】9月9日(土) 18時~20時 【定員】50名 **会員無料**
会員診療所の勤務医(未入会)は1,000円

【会場】久留米シティプラザ5階 大会議室 (久留米市六ツ門町8-1)

FAX: 092-473-7182 ※お申込のうえ、当日はこの用紙を受付でご提出ください。

会員氏名: _____ 参加人数: _____ 名

医療機関名: _____ **会員診療所の勤務医(未入会)は1,000円**



QRコードからも
申込可能です。